企画書（記入例）

1枚版 株式会社ひなた食品（架空の例）

企画名	公式サイトで「ひなたキッチン オンライン料理教室」を毎月開催する
提出日	2026年12月1日（火）
提出者	マーケティング部 商品企画課 木村 拓
提出先（決裁者）	マーケティング部 部長 佐藤 美咲
1. 背景・現状の課題	通販会員の多くが初回購入だけで終わっている。2026年9月の購入者アンケートでは「調味料の使い方が分からない」という声が最も多かった。2027年2月の新サイト公開で、会員向けに動画を配信できるようになる。
2. 目的・ゴール	調味料の使い方を実演し、会員の2回目の購入につなげる。 目標：2027年8月までに、教室参加者の「参加後30日以内の購入率」を20%にする（参加していない会員と比較して効果を確認）。
3. 企画の概要	対象：通販会員（参加無料、各回定員30名） 内容：自社の調味料で作る「30分献立」を、講師と一緒に作る60分のオンライン教室 方法：毎月第2土曜10:00〜11:00に配信。申込は新サイトの会員ページで受け付け、録画は参加者限定で公開する
4. 期待される効果	定量：参加後30日以内の購入率、申込者数、新規会員登録数 定性：商品の使い方への理解、レシピ記事やSNSで使える素材の蓄積
5. スケジュール	2026年12月：決裁、講師の決定 2027年1〜2月：告知、リハーサル 2027年3月13日（土）：第1回（以降、毎月第2土曜に計6回） 2027年9月：効果測定と継続の判断
6. 予算・必要なリソース	合計42万円（6回分）：講師謝礼18万円（3万円×6回）、配信機材6万円、告知バナー制作3万円、レシピPDF制作15万円（2.5万円×6回） 人員：企画1名、配信1名（各回約1人日）
7. 実施体制	責任者：木村 拓（商品企画課）／配信：高橋 翔（情報システム課）／告知：渡辺 彩（広報課）／講師：社外の料理研究家（選定中）
8. リスクと対策	配信トラブル → 前日にリハーサルを行い、予備の回線を用意する。録画を後日配布する。 申込が少ない → 3週間前から告知し、定員の半数に届かない回は内容を見直す。
9. お願いしたいこと（決裁事項）	2026年12月11日（金）までに、予算42万円とテスト開催6回の承認をお願いします。

記入例の会社・人物・日付・金額はすべて架空です（株式会社ひなた食品）。 AFFiNE 企画書テンプレート
https://affine.pro/ja/templates/proposal-template